

(別紙)

【学びの共同体】について

「学びの共同体」とは、学習院大学文学部教授の佐藤学氏（東京大学名誉教授）が提唱されている理念に基づいたもので、一斉授業から協同的学びへの転換を図り、「学びの質と平等を同時に追求する」取組です。

また、生徒の「学び」に注目するために、授業者の「生徒の活動を見取る」スキルの向上が不可欠であり、普段の授業研究が欠かせません。このことを通じて、教職員の同僚性の構築をも意図した取組です。

「生徒一人ひとりの学ぶ権利を保障」し、「生徒たちが学び合い、教師たちも学び合う、教育の専門家としての成長」をビジョンとして掲げ、やがては「生徒と親と地域から信頼を獲得し、連帯する」共同的な学びを推進していくことが目標です。

【講師紹介】

講師 **佐藤 学（さとう まなぶ）氏**

1951年広島県生まれ。

東京大学大学院博士課程修了。

学習院大学文学部教授。東京大学名誉教授。専門は学校教育学。

全米教育アカデミー（NAE）会員、日本学術会議第一部（人文社会科学）部長、日本教育学会前会長、アメリカ教育学会（AERA）名誉会員。

国内数千校、海外数百校の学校を訪問し、「学びの共同体」を通じた学校改革の研究と実践を積み上げながら、『「学び」から逃走する子どもたち』『「学力」を問い直す』『習熟度指導の何が問題か』（以上、岩波ブックレット）、『教育方法学』『授業研究入門』（稲垣忠彦と共著）『教育改革をデザインする』（以上、岩波書店）、『米国カリキュラム改造史研究－単元学習の創造』『学校改革の哲学』（以上、東京大学出版会）、『カリキュラムの批評－公共性の再構築へ』『教師というアポリアー反省的实践へ』『学びの快樂－ダイアログへ』（以上、世織書房）、『教師たちの挑戦』『学校の挑戦』『教師花伝書』（以上、小学館）など、多数の著書を発表されています。